

団体の概要

概要及び設立時期

全日本菓子輸出促進協議会 (TACOM) は、輸出に取り組む菓子メーカー等で構成される協議会。全日本菓子輸出工業協同組合連合会 (昭和34年設立) を母体に平成29年1月16日に設立。

目的

国内で生産された菓子類の輸出を促進し、国内菓子産業の振興・発展に寄与するため、

- ① 菓子類の輸出に関する国内外の情報収集及び調査研究
- ② 輸出促進に必要なセミナー、講習会の開催
- ③ 海外で開催される展示会、見本市等への出展及び商談会の開催等を実施する。

代表者

代表理事 小高愛二郎

会員

(株) 天乃屋、(株) エイワ、江崎グリコ (株)、(株) ギンビス、
(株) ちぼりホールディングス、(株) ブルボン、丸京製菓 (株)、(株) 明治、
森永製菓 (株)、有楽製菓 (株)、(株) ロッテ、日本チョコレート・ココア協会、
全国ビスケット協会 他 **全46会員**※

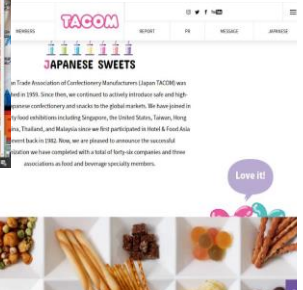
※令和7年7月25日時点

主な取組

- ・ 海外の展示会等に会員企業を取りまとめて出展 (米国、東南アジア、香港など累計10カ国地域で50回以上出展)
- ・ 複雑な海外の規制に対し、会員企業とともに対応の検討、実証等を実施
- ・ 大規模な日本菓子のPR、アンテナショップ設置による現地消費者調査等を実施
- ・ 英文HPを作成し、海外消費者に日本の菓子の魅力を発信



Winter Fancy Food Show (米国ロサンゼルス)
に出展した時の様子



TACOM英文HP

一般社団法人 全日本菓子輸出促進協議会 (TACOM)

(ALL JAPAN TRADE ASSOCIATION OF CONFECTIONERY MANUFACTURES)

米国における取組事例

米国において、会員企業を取りまとめアジア系小売店に留まらず、メインストリーム（現地系大手小売店など）への進出に向けた様々なアプローチを実施

商品の現地化

従来の日本向けパッケージやHPを、米国向けに対応させるため、現地の栄養表示などの規制、効果的なデザインなどの情報収集、対応方法の検討、企画等を会員企業とともに実施



現地向け栄養表示を記載したパッケージ（左）
米国になじみの無い菓子を紹介するHP（右）

展示会への出展

現地のSweets & Snacks Expo、Fancy Food Showなどへ出展し、バイヤーと商談



Sweets & Snack Expoへの出展（左）
現地大学でのPR（右）

大学での日本産菓子のPR

現地大学の学生が一堂に会する学生フェアのタイミングに合わせて、日本産菓子のPRを実施

プロスポーツ会場でのPR

現地での認知度、信頼性向上のため、ソフトボールやプロアイスホッケー会場などでのPRを実施



球場イベントでの様子

活動成果（一例）

会員企業が現地コストコとの契約を成立させ、販売量を伸ばす等、米国での販路開拓・拡大を実現



現地コストコに並ぶ商品

(TACOMからの聞き取り等を基に農林水産省が作成)